

R18

恋愛小説家 2



四号体の調子はどうだ？

あ……体が重い……

流量増やしてみますか

気持ち悪い……

まだ続くのかな……

もう腕痺がこみかきやうだ……

ぽちっ



ああもう……
久々に嫌な夢
見たせいで本当に
腕痺れて……

いっ!?



何だ
クロアか……
そりやあ
腕も痺れ……



ちよつと待つて何でクロアが
私の腕枕で寝てるの
つて言うか何で裸なの
つて言うかこれ明らかに
事後つてヤツじゃ





ん……

ム

わわ
ーっ
っ!? !?

……



そう言えは……

昨夜私たち初めて……



ん……

……もう……



明日腕が動かなくなかったら
責任取りなさいよね……

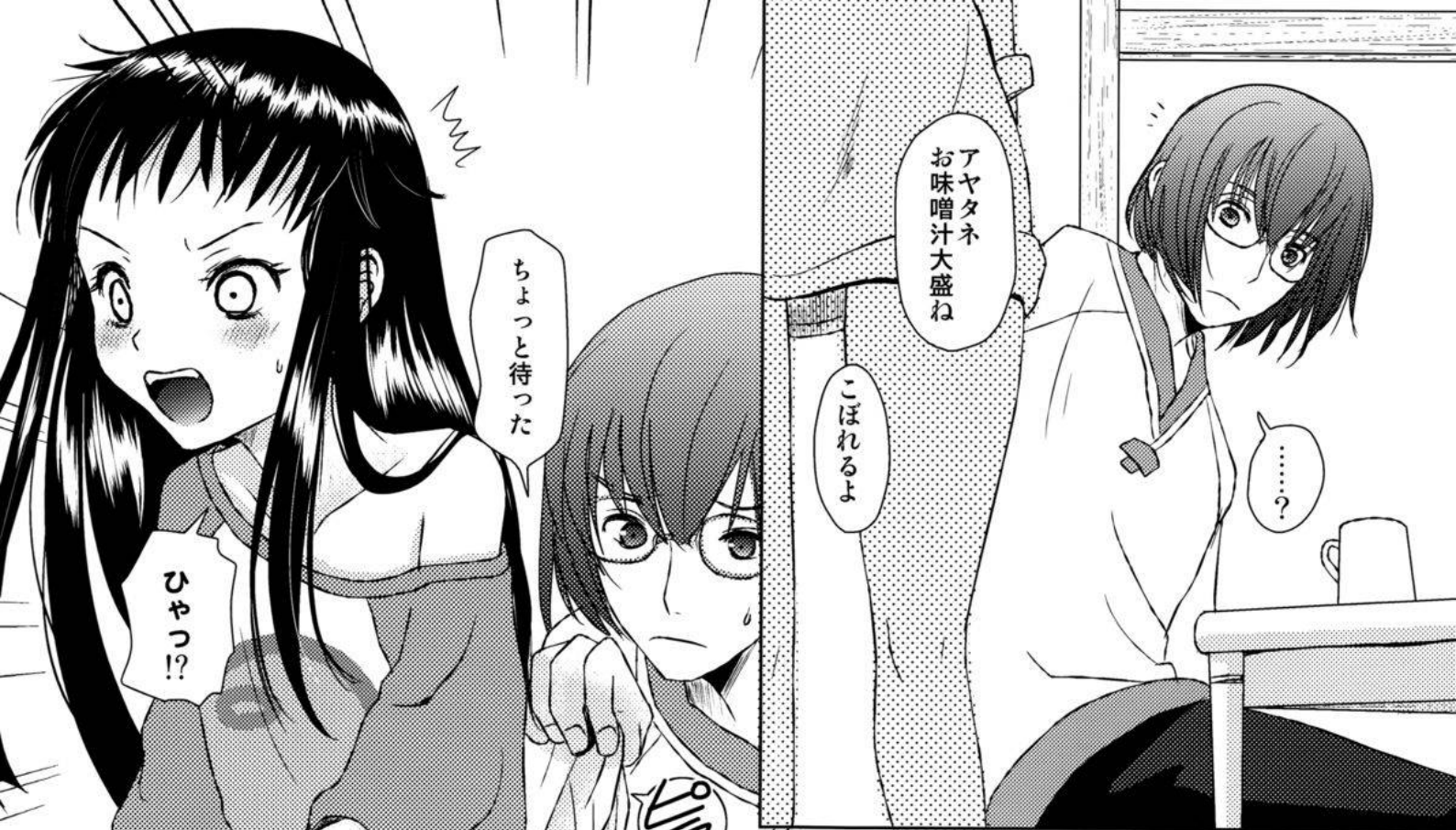














じゃあお金渡しておくから仕事帰りに買ってきて

何の罰ゲームだよ!

母さん
あんまりクロアくん
いじめたら駄目だよ
僕が買ってくるから

そう?

じゃあ
よろしくね

……いいのか……?



クロアくん
どんなのがいい?

は?

せっかくだから
クロアくんの好みを
優先しようと思って

え いや俺は



……やっぱり
自分で買ってくるわ

うん
それがいいよ

仕事遅れるから!
ごちそうさま!

う……

あ

ブ



とは言ったものの

うう……

歩くと痛い……

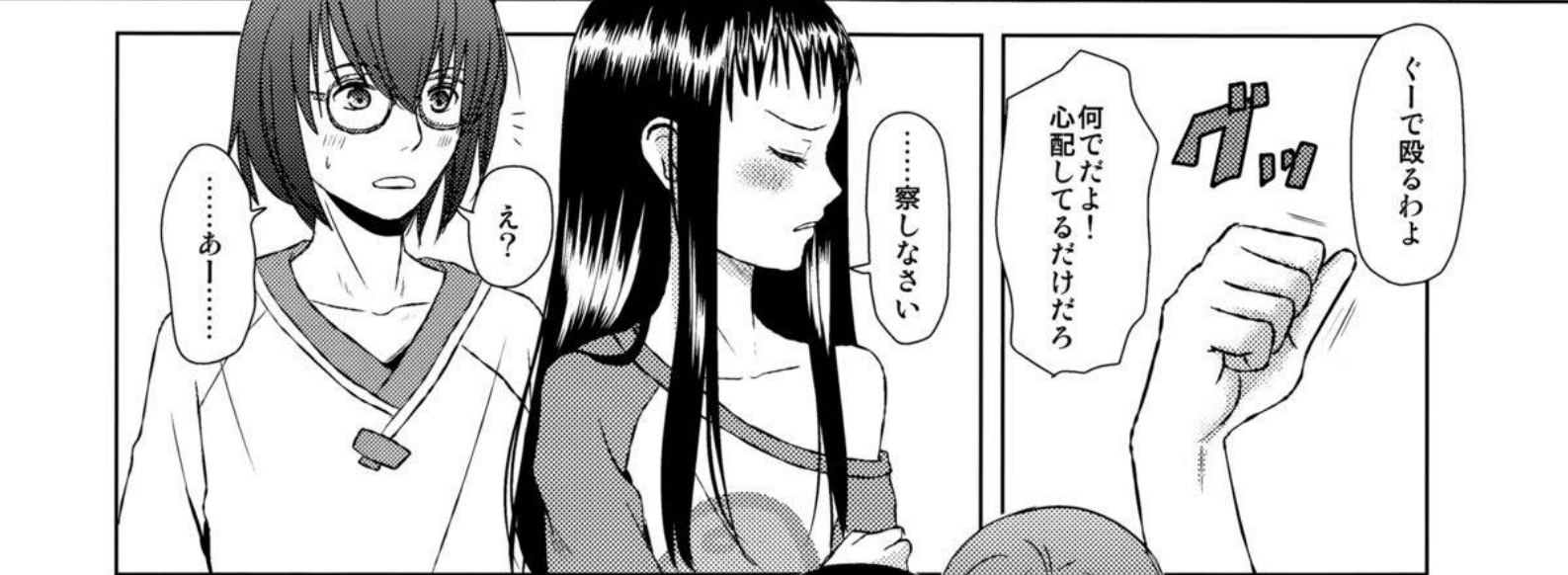
ミュール
どうしたんだ？

え？

歩き方がおかしい
けど足痛いのか？

ぶる

ぶる



ぐーで殴るわよ

ゴッ

何だよ！
心配してるだけだろ

……察しなさい

え？

……あー……



……じゃあ……
よいしょっと

きやつ！？

部屋に戻れば
いいのか？

ちよっ……
降ろしなさいよ！
仕事遅れるわよ！

んよ！



何て言うか……

一応俺にも
責任があるわけだし

……



はい到着

あ……
ありがと……

ところでさ
その……痛いとかなら
魔法で何とか出来る
んじゃないのか？

本つつ当に女心が
分からない奴ね！
情緒の問題よ！



ねえ それより
時間大丈夫？

仕事行く
んでしょ？

あ
そうだった



そんなもんなのか？

そんなもんなの

女心って
難しいもんだな



じゃあ行ってきます

ちゅっ



何か調子狂うわ……



も……



自分で買ってくるからいいわよ!

あ、パンツは買ってこないからな



少し前の私には考えられなかつたような世界

誰かに想われること

誰かを想うこと

未だ





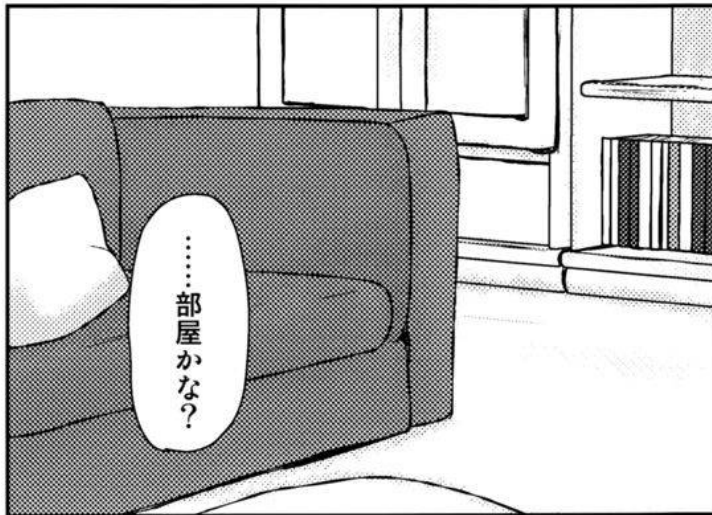
ただいまー



って
何考えてんだ俺

個人的には
可愛い路線を穿いて
もらいたんだけど

でもミュールに好きなの
選ばせたらやつぱり
面積少ないのを選ぶのかな



……部屋かな？



入るぞ

……
ド
ド
ド



ミュール

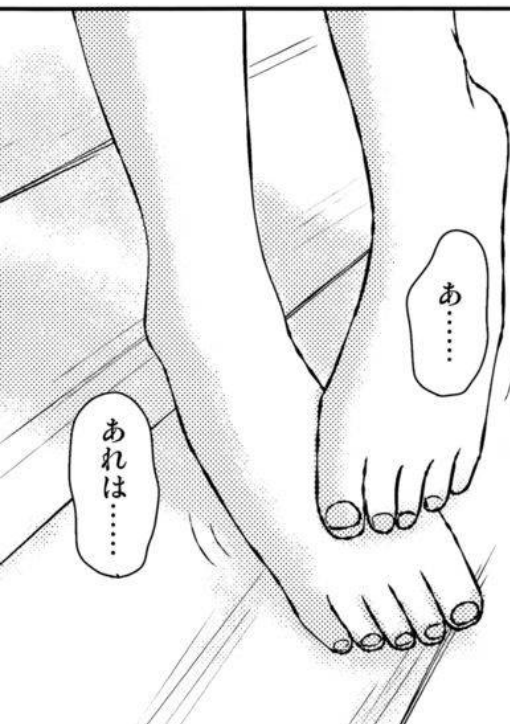
コ
コ
コ

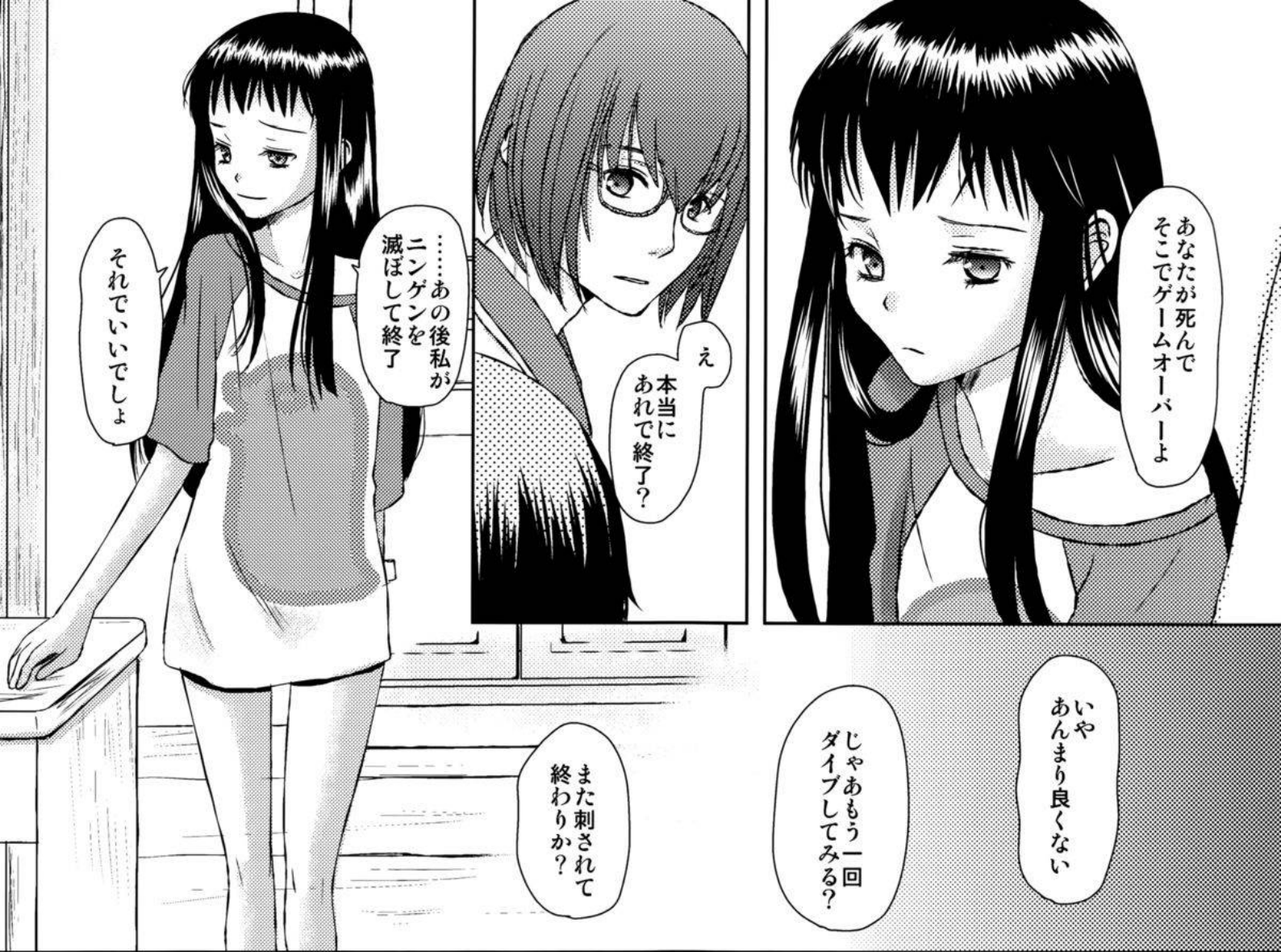


悪い遅くなった

すぐ夕飯作るから……







あなたが死んで
そこでゲームオーバーよ

え
本当に
あれで終了？

……あの後私が
ニンゲンを
滅ぼして終了

それでいいでしょ

いや
あんまり良くない

じゃあもう一回
ダイブしてみる？

また刺されて
終わりか？



——ミユール



さあ
どうかしらね

……



なに……?
クロア……?

……今の「美羽」なら
「畔章」と一緒に
別の未来を作れると思うよ

……

ふあ……





こう言うの好き？

えー……
と……

もっと過激な方が
好みだったかしら

やいや……
見せなくていいから

もう
買えって言うから
今日のお昼にわざわざ
買いに行ったのに

歩くの辛いんじや
なかったのか？

ああ
イライラしたから
魔法で治したわ

だって
不便でしょ？

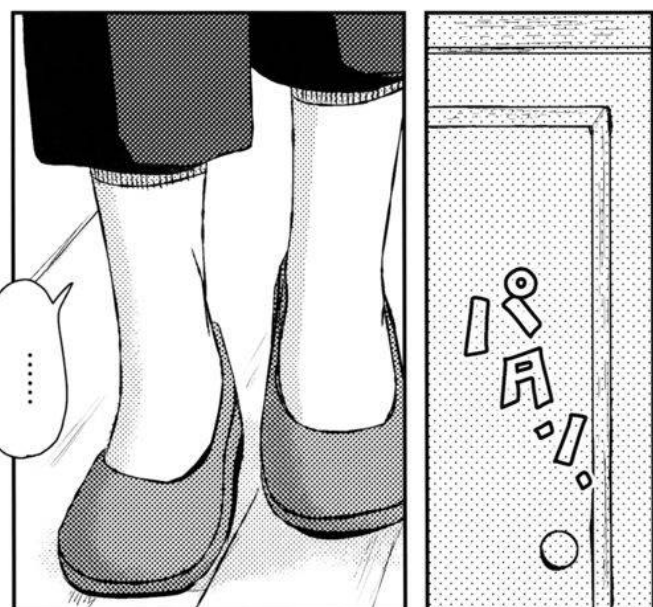
……お前の言う
女心って何だ……



可愛いから
いいんじゃないか？

まあでも……

……ありがとう



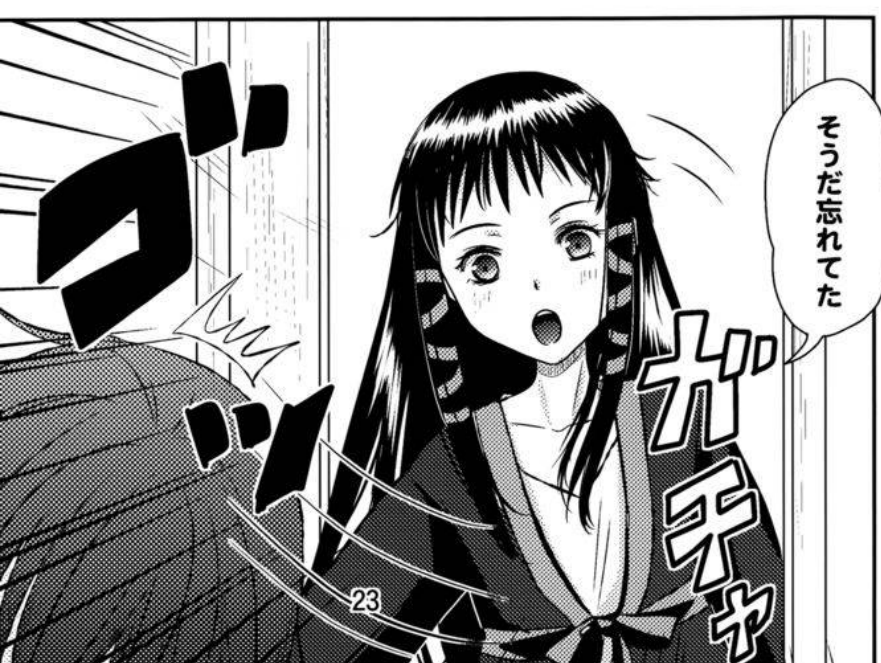
……

パァッ!



おん……
おやすみ

じゃあ……
おやすみなさい



そうだ忘れてた



何か……
目が冴えちゃった
じゃないか……

ほー



……痛い痛いの
飛んでけー

……まず謝罪しろ

で
何だ？

その……



えーと……

さっき
書いてたやつ
の事か？

書けたら
読んでくれる……？



すごく嬉しかった

今の美羽なら
別の未来を作るって
言ってくれた事



昨夜
あなたが言ってくれた事
……嬉しかった

それでも手放したくない
大切な本があるって……

ハッピーエンドじゃ
なくてもいいって……



クロアは特別だから！
でも書きかけのヤツ
盗み読みしたら泣かす！

本当は！
知ってる人に読まれるの
すごく恥ずかしいから
嫌なんだけど！

……うん
だから
だから……
その……



ミュール……



よっぽど知られたくない
何かがあるんだろうな……

はい……

潰されたくなかったら
その話はしないように

そう言えば前にスピカから
ちらっと聞いたけど
何かお前面白い小説持

わーっ！



……もう少し話したい



あ……



とつとつ
とにかく……
そう言う事だから……



あ……
疲れて眠かったからな

あなた
昨夜は私の腕枕で
ぐっすり寝てたわ



……正直ね

ちぎ



腕枕って思ったより
寝心地良くないわね

自分がしたいって
言いたくせに
文句言うな



ん？
イヤ？

……ってちよつと！
どこ触ってるの

ミュールには
嘘つかないって
決めてるから

……そう

ギョッ



カ
ハ
ド
ド

？

ちよつと
ズルしていい？



イヤなら
しないよ

い……イヤじゃない
……けど……



ううう
痛いイヤだから
ちよつと魔法でズルしてみたら……

ふああ……♥



あやだっ……



あっ

んっ



ミュール
何か昨日よりすごい
敏感になってないか?

ふあ……
クロアあ……

ちよつとこれ……

だめえ……
私っ……

感じすぎてヤバイ……!

んんっ……



可愛い……

はむ
はむ

んんっ……

あー!
ビク
ビク
ビク
ビク

だからあ……
そんなに触ったら……

ああ……

や……

ついでにクロアも
軽く回復させてやるんじゃなかった!



すごいやらしい音してる……

んっ……

ああもう……
ワケ分かんない……

ここぞとばかりに強気に出ちゃって……
絶対今度仕返ししてやる！

ミュールはこう言う
小説も書いたりするの？

ばっ……かあ……
知らないっ……!!

そっだわ、クロアをモデルにした
ムツツリ男が調教される話でも書いてやろう

あっ
あっ……!



あぁっ……

んっっ

あっ……

ギキッ

んっ



んっっ……

やだ……昨夜の感じと全然違う……

大丈夫か？
本当に痛くない？

じゅっ
じゅっ



う……動いて……
もっ……

そっっ……
そっお……

アッ
アッ
アッ

もう……恥ずかしいとか
そんなのどうでもいい……

気持ちいい……

気持ちいい……









こんにちは。イヌドリル。の犬森サヤカです。
また今回もジャクリさんとクロアさんのマンガです。
以前発行した「恋愛小説家」の続きみたいな感じになってますが、
厳密にはラストより1ページ前、38ページの1コマ目と2コマ目の間に起こった話です。
今回は無印と比べて軽い話になってますので、前のを読んでなくても全然大丈夫という……

そんなこんなで毎回バカなもの描いてますが、少しでも楽しんでいただければ嬉しいです。

犬森サヤカ

恋愛小説家2

発行 : イヌドリル。(犬森サヤカ)
発行日 : 2013.12.31
印刷所 : フリーク

website : <http://inudrill.com>
連絡先 : inu@aoba.sakura.ne.jp
twitter : inumori_S

無断転載・web上へのアップロード等ほしないでください。



イブドリル。